



平成 22 年 2 月 5 日

各 位

会社名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 真之
コード番号 3947
(東証・名証第 2 部)
問合せ先 執行役員経理部長 山田 良文
電話番号 (052) 971-2651

特別損失および特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 12 月期第 4 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失および特別利益を計上しますので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 21 年 12 月期第 4 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

(1)平成 21 年 12 月期第 4 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成 21 年 12 月期第 4 四半期会計期間(平成 21 年 10 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	15 百万円	21 百万円
(イ)平成 21 年 12 月期第 4 四半期累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額	353 百万円	359 百万円
(ロ)直前四半期(平成 21 年 12 月期第 3 四半期)累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	337 百万円	337 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は 12 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成 20 年 12 月期末の純資産額	30,658 百万円	26,412 百万円
(A/B×100)	0.05%	0.08%
(イ/B×100)	1.15%	1.36%
(C)最近 5 事業年度の経常利益額の平均額	915 百万円	1,007 百万円
(A/C×100)	1.74%	2.17%
(イ/C×100)	38.67%	35.71%
(D)最近 5 事業年度の当期純利益額の平均額	291 百万円	228 百万円
(A/D×100)	5.47%	9.56%
(イ/D×100)	121.27%	157.23%

(注) 最近に終了した事業年度の経常利益および当期純利益が 10 億円未満のため、経常利益および当期純利益は最近 5 事業年度の平均値としております。(赤字の事業年度はゼロにて計算)

2. 子会社株式評価損の計上(個別)

当事業年度において、当社が保有している連結子会社の株式について子会社株式評価損を 1,392 百万円計上しております。

3. 固定資産売却益の計上(個別・連結)

当第 4 四半期連結会計期間において、固定資産売却益として連結決算で 2,427 百万円、個別決算で 2,459 百万円をそれぞれ計上しております。

これは、当社の連結子会社である日本ハイパック(株)名古屋工場および大日本紙業(株)大府工場を 2009 年度中にダイナパック(株)みよし事業所に移転したことに伴い、当社が保有するそれぞれの工場跡地を売却したことなどによるものであります。

なお、この件につきましては、平成 20 年 5 月 14 日および平成 21 年 1 月 23 日に「固定資産の譲渡に関するお知らせ」として公表いたしました固定資産の譲渡に関するものであります。

4. 業績への影響について

平成 21 年 12 月期通期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、本日付で別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上